

ダイヤデータの構造は以下の様になっています。

行程, 車両, 前駅発車時刻, 竜丘駅発車時刻, 予備

使用できる文字はすべて半角の数字・空白・カンマだけです。1行ずつ改行してください。

各項目間は必ず1つのカンマで区切ってください、カンマは省略できません。

最大行数は99行までです(最終データ込み100行まで)。最終データは必須です。

データ名は、半角・全角可、拡張子は.txt、文字コードはUTF-8、改行コードはLF

として下さい。行程の前後には空白文字は付けないで下さい。

### 【各項目の説明】

項目名	指定文字	説明
行程	1, 2, 3, 4, 5  9	列車の運転方向です。 1: 下り列車 田牛方→竜丘→鯉沼方 2: 上り列車 鯉沼方→竜丘→田牛方 3: 貨物列車 鯉沼方→竜丘→鯉沼方 4: 専用線貨物 工場→竜丘→工場 5: 専用線行員輸送 工場→竜丘→工場 9: 最終データ 最終行には必ず指定してください。
車両	数字	本線列車の前駅出発時点での車両画像を指定します。 列車種別はこの車両指定と関連付けされています。 行程3, 4, 5は指定不要です、0として下さい。 詳細は後記します。
前駅発車時刻	0~59	前駅の発時刻(分単位)です、時は省略します。 <b>重要</b> 各行は前駅発時刻の昇順に並べてください。
竜丘駅 発車時刻	0~59	竜丘駅の発時刻(分単位)です、時は省略します。 前駅発時刻+2分=発車時刻の場合、通過とみなします。 折返しに必要な時間は本線貨物は <b>14分以上</b> 、専用線貨物は <b>6分以上</b> 、専用線行員輸送列車は <b>4分以上</b> の折返し時間を見込んでください。
予備	0	使用しません、0としてください。

**【車両指定の説明】**

車両番号	列車種別	編成内容	編成両数
11	特急	383系4連	4
12	特急	383系2連	2
13	空港特急	281系3連	3
14	特急	489系6連	6
15	臨時・団体	VISTA4連	4
21	快速	185系6連	6
22	快速	185系4連	4
23	快速	221系6連	6
24	快速	221系4連	4
25	快速	313系6連	6
26	快速	313系4連	4
27	付属	313系2連	2
31	普通	117系4連	4
32	普通	165系4連	4
33	普通	115系4連	4
34	普通	E233系4連	4
35	普通	103系4連	4
41	特急	ユーザー車両 exp1 ~ exp6	4 or 6
42	快速	ユーザー車両 rap1 ~ rap6	4 or 6
43	普通	ユーザー車両 loc1 ~ loc6	4 or 6

付属編成併結時の列車種別は主編成の種別となります。

牽引列車指定方法

車両番号	列車種別	編成内容	編成両数
48	リゾート	EF64+リゾート客車4両+EF64	6
49	SL急行	SL+旧型客車4両+SL	6
6151	SL急行	SL+旧型客車3両	4
6352	SL急行	SL+SL+旧型客車4両	6
6453	リゾート	EF64+リゾート客車4両	5
6654	クルーズ	EF66+リゾート客車5両	6

## 【編成指定方法】

車両番号は2桁又は4桁で指定します。

車両の連結順序は、aabbとすると、**aaが上り側(左側)bbが下り側(右側)**となります。

牽引列車は上り下りにかかわらず、**aaが牽引機bbが客車**となります。

[例]

2227 ←上り方 185-4両 + 313-2両 下り方→

1313 ←上り方 281-3両 + 281-3両 下り方→

6151 ←進行方向 SL + 旧型客車3両

**連結できる組み合わせには以下の組み合わせのみです。**

特急 1112 1211

快速 2227 2427 2627 / 2722 2724 2726

普通 3127 3227 3327 3427 3527 / 2731 2732 2733 2734 2735

牽引 6151 6352 / 6453 / 6654

工程3, 4, 5は指定不要です。0としてください。

貨物列車はランダムに編成を生成します。

行員輸送列車は車両固定のため指定不要です。

---

## 【その他の注意事項】

### 数字入力注意

全ての数字には**前ゼロは付けなくて下さい、誤動作の原因**となります。

### 出発間隔、駅間運転時間について

前駅-竜丘間は2分です。前駅出発間隔は**2分以上**の時間を開けてください。

竜丘駅出発は1分で続行可能です。

### データの並び順

データは**前駅発車時刻が昇順**になる様に順序を確認して記述してください。

データの最後には最終データを記述してください。

### 折返し時間について

本線貨物列車の折返し時間は**14分以上**、専用線貨物は**6分以上**、工員輸送列車は**4分以上**の間合いを見込んで下さい。(専用線貨物の到着時間は本線貨物到着の4分後に到着するタイミングが1番効率的です。)

### 本線貨物・工員輸送列車の禁忌について

2本以上の本線貨物列車または本線貨物と工員輸送列車は同時に竜丘駅に進入しない様にして  
ください、**詰んでしまいます**。

アプリでのデータ読み込み時のチェックは上記仕様の一部でチェックを省略しています。

チェックOKでも正常に動かない場合は、項目間の組み合わせを確認してください。

エラーが分からない時や、正常に動かない時は作成されたデータを添付していただき、

foxworks@haruki-kb.com まで送っていただければお調べ致します。

ユーザーデータ作成方法、読み込み操作方法につきましては、[鱒原駅ユーザーデータ作成マニュアル](#)をご参照ください。

以上 FoxWorks

## ユーザー車両導入手順書

FoxWorks

ユーザーが作成した車両画像をユーザーダイヤで走らせる事が出来ます。

登録できる編成は、**特急用・快速用・普通用**の3種類各1編成のみです。

編成両数はそれぞれ**4両編成**または**6両編成**です。

以下の手順で導入してください。

- ①画像データを作成する。
- ②画像データをユーザダイヤと同じホルダーに登録する。  
(注意：画像を登録・変更した時はアプリの再起動が必要です。)
- ③ユーザーダイヤでユーザー車両を使った列車を定義する。
- ④ユーザーダイヤを読み込みプレイする。

各行程を詳しく説明します。

### ①画像データを作成する。

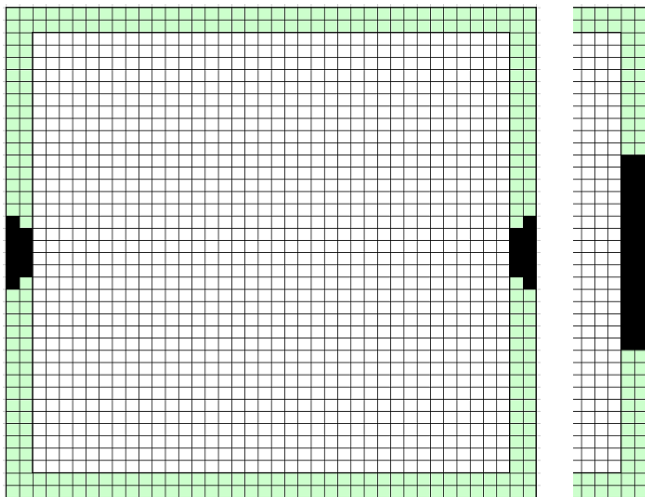
画像形式 PNG形式 (拡張子 .png) 画像名称は固定、後記します

属性 256色**透過モード**(推奨) または **フルカラーアルファチャンネル付き**

(画像は必ず**透過指定**又は**マスクをアルファチャンネルに保存**してください)

サイズ 40x40ドット(1両分)

大きさ 20KB(1両分)以内



- ・1両分ずつ作成します、上図緑色部分は透過色またはアルファチャンネルで透過してください。
- ・両側黒色部分は連結器となります。(右端は中間連結部分、どちらを使っても構いません)
- ・正方形であれば60x60、80x80、120x120、160x160でも構いませんが1画像20KB以内にしてください。(あまり大きなデータの場合、車両の動きが粗くなりますので、256色を推奨します)

